



大人への決意をはがきに込めて 一日本一大きな丸ポスト ルネこだいら前

12月定例会は、11月30日から12月21日までの22日間の会期で開催されました。

この定例会では、女性特有のがん検診推進事業の継続的実施を求める意見書提出などの議員提出議案6件が可決されたほか、小平市自治基本条例、人事議案、平成20年度小平市一般会計歳入歳出決算の認定(詳細は2面に掲載)などの市長提出議案20件が原案のとおり可決、同意または認定されました。

なお、定例会最終日には2件の議員提出議案が委員会付託されました。請願は、3件中1件を採択、1件を不採択、1件を閉会中の継続審査としました。

また、12月2日、3日、4日には、23人の議員から市政全般について63件の一般質問が行われました。

12月定例会

小平市自治基本条例を可決

議会改革調査特別委員会を設置

平成20年度各会計歳入歳出決算を認定

あけましておめでとございます。年頭に当たり、市議会を代表して皆様にごあいさつを申し上げます。

昨年、国際宇宙ステーションに長期滞在している宇宙飛行士の野口聡一さんが、日本実験棟「きぼう」の完成により「宇宙庭」をつくる実験を開始しました。人類が宇宙に長期滞在できる時代を迎えたことは、国民に大きな夢と希望を与えました。

小平市では、地元のFC東京がナビスコカップで優勝を果たし、Jリーグユースでは日本一を獲得しました。

また、ルネこだいら前の広場には日本一大きな丸ポストが完成し、「丸いポストのまちこだいら」として広く内外の注目を集めるようになりました。今年もこのような明るい話題が多く生まれて、小平の活性化につながっていくことを期待しているところでございます。

市議会におきましては、昨年末に議会の総意で議会改革調査特別委員会を設置し、今後、自ら議会改革に取り組んでいくことを決意したところでございます。

さて、本年も現下の長引く不況が市財政にも深刻な影響を与え、経済情勢に起因するさまざまな課題が山積しております。そのような中でも、第三次長期総合計画を着実に推進するため、引き続き創意工夫に努めて経済不況による影響を極力抑え、その負託にこたえていくことが、市議会に課せられた大きな使命であると考えております。

市議会は今後も議事機関としての使命を発揮し、さまざまな課題解決に向けて議論を交わし、市民の皆様の声を市政に反映させてまいります。

本年も市民の皆様にとって幸多き年でありますよう祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

副議長 加藤 俊彦
議長 永田 政弘

新しい年を迎えて

議員の寄附行為や

時候のあいさつ状は

禁止されています。

議員は、選挙区内の人に、お金や物を贈ることや、時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことは法律で禁止されていますので、ご理解をお願いいたします。

